



The Japan Foundation Prizes for
Global Citizenship 2005

2005年度

「国際交流基金 地球市民賞」受賞者紹介

ジャパンファウンデーションでは、国際文化交流事業を通じての地域の変革や活性化、文化交流や相互理解の促進に顕著な功績のあった団体・個人に、毎年「国際交流基金地球市民賞」(賞状と副賞200万円)を贈っています。

1985年に設けられた「国際交流基金地域交流振興賞」から数えて、今回で21回目を迎えるに当たり、「地球市民賞」と名称を変えました。2005年度は、特定非営利活動法人チェルノブイリへのかけはし(北海道)、浅賀正治(茨城県)、Genki青年会(高知県)の2つの団体ならびに個人1名が受賞し、12月14日に、国際交流基金フォーラム(東京)において授賞式が行われました。

また、21回目を迎えたことを記念して、これまでの受賞者の軌跡を振り返った『クロスボーダー宣言』国際交流を担う地球市民たち(鹿島出版会)を出版しました(同書については本誌74ページでもご紹介しています)。



「里親運動」を幅広い文化交流活動に発展させた被災者支援のモデルケース

旧ソ連のチェルノブイリ原発事故で被災したベラルーシ共和国の児童を日本に招へいし、北海道で1カ月の転地療養をさせる「里親運動」を14年にわたり実施。

札幌市内をはじめ近郊の小樽や石狩、遠くは茨城県や福島県のボランティア家庭が、里親としてベラルーシの児童を受け入れ、寝食をともにし、日本の「親」として接する。

単なる療養でなく、生活そのものがお互いにとってまるごとの「異文化体験」であり、文化や価値観の違いを超えた深い交流の機会となっている。これまででのべ552名の児童が来日しているが、その中から日本文化に関心のある青年を再招へいし、日本とベラルーシの「かけはし」となるように日本語、日本文化の習得の機会を提供している。

また、ベラルーシ児童の招へいだけではなく、日本の里親たちもロシア語学習会や視察を通じての現地の社会や文化事情への理解、日本の劇団の現地での慰問公演の企画・コーディネートなどを通じて双方向の支援・交流活動を行なっている。

特定非営利活動法人 チェルノブイリへの かけはし

野呂美加代表・北海道札幌市
設立年 1992年

→前列右より、選考委員長の石井幸孝氏（株式会社 都市再生研究所取締役会長）、受賞した浅賀正治氏、特定非営利活動法人チェルノブイリへのかけし 野呂美加代表、Genki青年会 ダニエル・ロックマン代表、小倉和夫国際交流基金理事長

撮影：高木厚子



あさがまさじ
浅賀正治

個人・茨城県桜川市
活動開始年 1994年

石の持つ魅力を通じて 地域と世界を結び 石の文化を世界に発信

浅賀正治氏は、石は地球の生命であると考えていることから、石彫刻家同士が交流を通じて地球規模でつながっていくこと、石の文化への理解を広げることを使命と考え、1994年より隔年で、ジンバブエやブルガリアから私費を投じて石彫刻家を招き、アーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業を実施している。

また、茨城県桜川市（旧・岩瀬町）をはじめ付近一帯は、良質の御影石の産地として広く知られているが、外国産石の輸入増加により国産石の需要が激減している。

地域活性化の方策を模索している状況にあるなか、浅賀氏はAIR事業以外にも地元の文化への理解を深めるための美術館活動、小中学生や市民向けの石彫刻教室、地元の石材業者と石の文化を広げるための「石の学校」など多様な活動を行っており、地元の石材業者や地方自治体の間で支援の輪が広がっている。



Genki青年会

ダニエル・ロックマン代表・高知県高知市
設立年 1996年

方言と地方文化の豊かさを 独自の視点で演出・上演し その成果を地域社会に還元

高知県内在住のJET青年（外国語指導助手(ALT)、国際交流員(CIR)）の半数以上が参加する、地元の方言を取り入れた土佐弁ミュージカルの創作と公演活動を行なっている。

1996年、JETとしての活動では交流の機会が少ない郡部の高齢者との交流をきっかけとして、ある青年の発案により始まった。

自分たちの個性と才能を活かし、また地域社会にとって外国人という傍観者から一歩踏み込み、地域の歴史や風土、時流を取り込んだテーマを取り上げ、自分たちで脚本を執筆し、演出し、上演という一連の過程をまったくのボランティアとして行なっている。

忙しい授業や仕事をやりくりし、県内から有志が集まり、衣装も小道具も手作りし、土佐弁を習得している。

現在では、山間地や福祉施設などを始め、県内各地での公演が待たれるようになっている。また、上演にあわせて募金活動を行っており、募金は県内の日本人の語学留学希望者への助成金に充てられている。